

被爆80年  
**平和の祈り**

劉福君親子 二胡名曲コンサート

主催：日本中国友好協会福岡支部 福岡日中文化センター  
後援：福岡市 中華人民共和国駐福岡総領事館 西日本新聞社  
日本中国友好協会福岡県連合会 NPO法人日本二胡振興会



2025年11月9日(日)

13時……開場  
13時30分開演

場所

福岡市立早良市民センター

〒814-0006 福岡市早良区百道2丁目2番1号

チケット一般 前売：3500円 当日：4000円 学生

(小学生から大学生まで) 前売：2000円 当日：2500円

前売券販売：コンビニ・チケットぴあ(コード：309-306) お問い合わせ：092-761-0604(中村)

出演  
—劉福君(二胡) 劉美佳子(二胡)

志娥慶香(シンセサイザー) 橋口武史(ギター)  
宮本香緒理(パークーション) 馬曉夢(ゲスト・歌手)



被爆  
80年

# 平和の祈り

劉福君親子二胡名曲コンサート

ごあいさつ

第二次世界大戦の終結から80年を迎える。全世界の60カ国以上が参戦したとされるこの人類史上最悪の戦争によって失われた人命は7000万人から8500万人とされています。アジアでの覇権を目指した我が国はアジア太平洋諸国の人々に甚大な被害をもたらしただけでなく、沖縄諸島をはじめ主要都市の多くが焦土と化し、人類史上初めて原爆の惨禍を経験した国となりました。

終戦直後の1945年11月に採択された国際連合教育科学文化機関憲章（ユネスコ憲章）は、「相互の風習と生活を知らないことは、人類の歴史を通じて世界の諸人民の間に疑惑と不信を起こした共通の原因」であるとし、「ここに終りを告げた恐るべき大戦争は、人間の尊厳・平等・相互の尊重という民主主義の原理を否認し、これらの原理の代りに、無知と偏見を通じて人間と人種の不平等という教義をひろめることによって可能にされた戦争であった」と総括しました。

それから80年。行きすぎた資本主義のもとで深刻化した格差や貧困を背景に、自国民優先や排外主義を高唱する勢力が国内外で拡大しています。我が国でも、人々の無知と偏見に乗じて公然と近隣諸国や外国にルーツを持つ人々を攻撃したり、先の大戦の痛みを忘れて「核武装が安上がり」などと公言する国会議員まで出現しています。

近隣諸国との文化的な交流や相互理解を通じて、失われることのない平和のとりでを築いていくための取り組みが切実に求められています。

この度、お迎えた劉福君さん（中国吉林省出身）は、30歳で来日して以来30年以上にわたって、二胡の演奏を通じて日本と中国の友好と平和・文化活動の発展に尽力してこられました。

劉さんの二胡の調べに中国3000年の文化と歴史の一端に触れていただき、皆さん的心に平和の砦を築く一助になれば幸いです。皆さんのご参加を心よりお待ちしています。

日本中国友好協会福岡支部 支部長 池永 修  
福岡日中文化センター 所長 片山みつこ



劉福君（リュウフクン）/二胡

熊本市在住。NPO法人日本二胡振興会副会長。中国民族管弦楽協会名誉理事。2010年上海音楽学院日本二胡検定試験の認定校となる。2020年2月熊本県立劇場で熊本交響楽団との共演で熊本城復興新春チャリティーコンサートを開催し、同年11月霧島国際音楽ホールみやまコンセールで人吉球磨川の豪雨災害チャリティーコンサートなど地域社会への貢献のためのコンサートを数多く開催し、国内外の演奏活動のかたわら九州七県と島根県に二胡教室を開講し、日中友好の懸け橋として後進の指導育成に取り組んでいる。敦煌杯2022全日本二胡コンクール優秀教師賞受賞。

劉美佳子（リュウミカコ）/二胡

幼少より父劉福君に師事。数々の舞台で研鑽する。2017年第4回熊本アートフェスティボ！チャレンジ部門聴衆賞。敦煌杯2022全日本二胡コンクール青年の部金賞。2022年より本格的に親子二胡コンサートを開催。日中和平友好条約締結45周年記念公演、みやまコンセールにて王永徳氏、ウェイウェイ・ウー氏と共に演じる。

## 主な演奏曲目（予定）

（都合により曲目が変更になる場合もございますが、予めご了承ください。）

### 主な曲目

郷の風、クスノキ、JIN～仁～Main title、  
東京ラプソディー、恋の思い出、コンドルは飛んで行く  
など

## 志娥慶香（シガケイコ）・シンセサイザー

作曲家・ピアニスト。バークリー音楽大学映画音楽作曲科を首席卒業。映像音楽制作やコンサート・アートとのコラボレーションを国内外で行う。2016年よりフィンランドを訪れ、チャリティコンサートを行うなど音楽やアートを通じた文化交流を深めている。2018年公益財団法人信友社より熊本県内の学術・文化・スポーツなどに優れた功績があった個人・団体を顕彰する第41回信友社賞を受賞。熊本市の水保全をPRする「音楽創造水守」として活動し、作詞作曲・自主リリースした「みずのうた」はくまもと地下水財団CMなどに長年にわたり起用され、熊本県の水保全・啓発に貢献。2022年第4回アジア・太平洋水サミット開催記念ソング「水と花と夢と」制作サポート。2023年公開の映画「あの子の夢を水に流して」（遠山昇司監督）、2024年公開の映画「骨なし灯籠」（木庭撫子監督）の音楽を担当。



## 橋口武史（ハシグチタケシ）・ギター

1974年長崎市生まれ。10歳より故・山下亨氏に師事。第32回九州ギター音楽コンクール第1位。第30回・第38回東京国際ギターコンクール入賞。第1回ウラジオストックギターフェスティバル（ロシア）、第2回コヤン国際ギターフェスティバル、第2回デジョン国際ギターフェスティバル（韓国）に招待される。

現在、福岡市を中心に各地で演奏活動及びレッスンを行うと同時に、ミュージックワーキングによるパンライフギタリストになることを画策中。これまでにソロアルバム「Stand Alone」等4枚のCDをリリース。JR九州のクルーズトレイン「ななつぼしin九州」ミュージシャン。すたじおG主宰。九州大学文学部哲学科卒業（心理学専攻）



## 宮本香緒理（ミヤモトカオリ）・パーカーション

大学でクラシックを学ぶ。在学中サークルで日本音楽研究会に属し、和太鼓を始め世界の民族音楽に興味を持つ。

卒業後ライブ活動をスタート。JAZZに出会い影響を受ける。

現在は広島を拠点にボーカリストのサポート演奏やアコースティックバンドを中心に、中国、九州、関西地方で活動を展開している



## 馬暁夢（マショウモン）・ゲスト／歌手

中国音楽学院で音楽表演（演劇）の学士号と芸術の修士号を取得。中国文化労働団のソリスト。8枚のアルバムを出版し、国家オリンピックセンター体育場と北京世紀劇院で2回の大規模なコンサートを開き、いくつかのミュージックビデオを撮影し、CCTVの「メーダー世界中国芸術コンクール」で金賞を受賞。中国传统音楽交流活動のため、アメリカの多くの大学を訪問し、アメリカ州政府から「中国传统音楽交流使」を授与されたほか、タイ、日本、ミャンマー、北朝鮮を訪れ、中国传统音楽を広めるための公演に参加している。

